

# Art journey えいじやに

※Art journeyからネーミングした「えいじやに」では、びわ湖芸術文化財団「地域創造部」と「文化産業交流会館」からのイベント情報を発信します。気軽にArtの旅を楽しんでください。



スターダンサーズ・バレエ団「シンデレラ」より



小山久美(おやまくみ)

慶應義塾大学文学部哲学科卒業。1979年スターダンサーズ・バレエ団(SDB)入団。84年North Carolina School of the Artsに留学、文化庁在外研修員としてメリッサ・ヘイドンに師事。翌年よりタンパ・バレエ団に参加しソリスト等を務める。92年村松賞受賞。2003年SDB総監督、09年常務理事に就任。昭和音楽大学短期大学部教授、昭和音楽大学バレエ研究所所長、TOCOGの文化・教育委員。

## リラックスパフォーマンス「ようこそ、バレエの世界へ」

**日時** 10月10日(土) 15:00開演  
※当初予定の8月8日(土)より変更となりました。  
**会場** 文化産業交流会館 イベントホール  
**入場料** 一般2,000円 青少年(25歳未満)1,000円  
障害者手帳をお持ちの方1,000円 [全席指定]  
チケット発売:6月27日(土) ※4歳以上入場可

日本から発信するオリジナルバレエの創造を目指し、日本を代表するバレエ団が一堂に会する「NHKバレエの饗宴」にも度々出演する「スターダンサーズ・バレエ団」。今回、さまざまな人に対応するリラックスパフォーマンスを実践する目的や、初となる米原公演の見どころなどを総監督の小山久美さんに伺いました。

## 多様な人に対応する公演形態で バレエを楽しく鑑賞してほしい!

スターダンサーズ・バレエ団総監督 **小山久美さん**

—これまでどのような活動をしてこられたのでしょうか?

1965年に創業し「バレエと社会をつなぐ」を理念に、古典の名作から近現代バレエまで多様な演目を上演してきました。振付家やバレエマスターなど約50名のダンサーが、首都圏や全国の小中学校などで年間約50公演を行い、初めてバレエを観る方や障がいのある方などに配慮した演目や取り組みを行ってきました。

—その方法として「リラックスパフォーマンス」を実践されていますね。

個々の多様性を受け入れるインクルーシブな社会実現への寄与を目的とした、劇場での鑑賞に不安がある方にも向く公演形態です。例えば客席の照明を完全に暗くせず、上演中でも外に出られるなど鑑賞マナーを緩和しています。中学生の生徒さんと共演した際には舞台参加者から「不登校だった生徒が登校できるようになった」などの声が挙げられています。2018年にびわ湖ホールをお借りしてやらせていただいた公演でも、お客さまの8割以上が満足と評され「子どもや障がいのある人にも開かれている」と感動の声が多く寄せられました。

—米原では初となる今回の公演について、見どころを教えてください。

前半は3大バレエと評される代表的な作品を抜粋し、解説者が説明します。後半の「シンデレラ」は子どもたちの集中力を考え、小学校の授業と同じ40分の上演です。様々な感情表現なども身体で表現するバレエの世界はどなたにも楽しんでいただけるはずです。

問い合わせ 0749-52-5111

## 滋賀県次世代育成ユースシアター出演者募集

県内の子どもを中心としたミュージカルを上演。ドキドキわくわくを詰め込んだオリジナルステージを一緒に創り上げましょう。

**本番公演** 12月20日(日) イベントホール  
**練習期間** 9月~12月(予定)  
**練習場所** 練習室ほか  
**参加費** 無料 **申込方法** 申込用紙に必要事項を記入の上FAXもしくは郵送・持参  
申込受付は7月から開始。詳細はHPをご覧ください。



令和元年度滋賀県次世代育成ユースシアター事業「青春バグダッド」より

## 古典芸能キッズワークショップ(箏・日本舞踊)参加者募集

小学生を対象とした初心者向けの古典芸能ワークショップです。箏や日本舞踊の世界を体験してみませんか。

**発表日** 2021年2月21日(日)  
**練習期間** 11月~2021年2月  
**場所** 小劇場、練習室ほか  
**参加費** 無料(小道具・衣裳の諸経費が別途必要になる場合があります)  
**申込方法** 申込用紙に必要事項を記入の上FAXもしくは郵送・持参/HPの申込フォーム  
申込受付は8月から開始。詳細はHPをご覧ください。



令和元年度古典芸能キッズワークショップ発表会より

## 文化産業交流会館イベント情報

### シエナ・ウインド・オーケストラコンサート

テレビでも馴染みの指揮者 青島広志と、日本を代表する吹奏楽団シエナ・ウインド・オーケストラを迎えた豪華なコンサート。文化産業交流会館から本格的な吹奏楽の演奏をお届けします!コンサートの最後には客席の皆様と「宝島」を一緒に演奏する共演コーナーも!是非ご自身の楽器をご持参ください。



青島広志

**日時** 10月3日(土) 15:00開演  
**会場** イベントホール  
**入場料** 一般2,000円 青少年(25歳未満)1,000円 [全席指定]  
チケット発売日:6月27日(土)  
※未就学児入場不可



シエナ・ウインド・オーケストラ

※掲載中の公演は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、延期・中止となる場合がございます。最新情報はホームページにて順次ご案内しております。

世代や国籍を超え、身体表現の豊さを伝えるため、劇場や舞台、野外などの場所や対象に応じて作品を上演する「to R mansion(トゥーアールマンション)」。パフォーマンスの特徴や魅力を、メンバーの野崎夏世さんに語っていただきました。

## 世界中で上演した、 選りすぐりのパフォーマンスを披露!

to R mansion **野崎夏世さん**

東京を拠点に、日本各地や世界15か国81都市から招聘され、演劇祭やストリートフェスティバルなどで上演しています。映画や音楽の趣味が似ていて意気投合し結成。演出担当で主宰の上ノ空はなび、野崎夏世、丸本すばじろうが出演し、パントマイムをベースに演劇、マジック、アクロバットなど様々な視覚的な手法を使い、アイデアを出し合いながら創作しています。

「トゥーアールランド」は、私たちが世界中で上演してきたものの中から、選りすぐりの演目で構成されたパフォーマンスショーです。愉快でファンタジックなステージは、大人から子どもまで笑いや驚き、歓声に包まれます。透明人間やピエロなど、奇想天外なキャラクターたちが、イメージーション豊かな世界へとお連れします。私たちにとっても初めてで、念願の米原公演、お会いできる日を心待ちにしています!



to R mansion (左より野崎夏世、丸本すばじろう、上ノ空はなび)

to R mansion (トゥーアールマンション)

世界中の演劇祭やストリートフェスティバルから招聘されるパフォーマンスカンパニー。神戸ビエンナーレ大道芸コンペティションでグランプリを2度獲得するなど受賞歴多数。海外でも高く評価され、かのファッションデザイナー、ジャンポール・ゴルチエ氏も彼らの大ファンである。

## トゥーアールランド ~パフォーマンスショーとワークショップ~ <パフォーマンスショー>

**日時** 9月27日(日) 13:00/15:30開演  
**会場** 文化産業交流会館 小劇場  
**入場料** 一般2,000円 青少年(25歳未満)1,500円  
親子ペア3,000円 家族4人(大人2名・子ども2名)4,000円 [全席指定] チケット発売:6月27日(土)

## <身体表現ワークショップ>

**日時** 9月5日(土)・6日(日) 各日11:00/13:30  
※当初予定の7月24日(金・祝)、25日(土)より変更となりました。  
**会場** 文化産業交流会館 練習室1・2  
**入場料** 無料(要申込、各回先着20名)  
**申込方法** 申込用紙に必要事項を記入の上FAXもしくは郵送・持参/HPの申込フォーム  
**申込期間** 6月27日(土)~8月28日(金)

## びわ湖アンサンブルフォレスト2020

**File1 室内楽への誘い**  
**日時** 8月2日(日) 14:00開演  
**会場** 小劇場 **入場料** 無料(要整理券/限定100席)  
**出演** 岩崎弓乃(ヴァイオリン)、岩崎弓夏(チェロ)、千葉遥一郎(ピアノ)  
**演目** ベートーヴェン:ピアノ三重奏曲 第7番「大公」ほか

**File2 琵琶にまつわる怪しい(不思議な)はなし**  
**日時** 8月22日(土) 15:00開演  
**会場** 小劇場 **入場料** 無料(要整理券/限定100席)  
**出演** 川嶋信子(薩摩琵琶)、塚田陵子(語り)  
**演目** 「竜と琵琶法師」「耳なし芳一」ほか

**10月以降の公演情報**  
10月3日(土) 弦楽トリオ、10月17日(土) 管楽デュオ、10月18日(日) 弦楽デュオ、10月24日(土) ピアノ連弾、11月7日(土) \*木管デュオ、12月26日(土) \*打楽器アンサンブル、2021年1月16日(土) 声楽デュオ、2021年3月頃\*室内楽 \*印は小劇場、その他はロビーにて行います。詳しくはホームページをご覧ください。

## 地域創造部より

### 季刊誌「湖国と文化」

44年間、滋賀の文化を発信し続けている「湖国と文化」。7月1日発行の第172号は「湖国と戦争~戦後75年、今、伝えたい」特集です。

戦争は、私たちの日常や文化も奪いました。黒色に塗りつぶされていく日常の中で、「文化がないなら文化をつくらう」と、子どもたちの創造性を育み続けた先生たち(「瀬田国民学校五年智組、少女たちの学級日誌」)。金属類回収令によって全国でお寺の梵鐘の9割が失われた中、滋賀の梵鐘を守り抜いたひとりの文化財技師。ぎりぎり最後まで残っていた京都への原爆投下計画と、そのための大津への模擬原爆投下。湖国の厳しい戦争の実相とともに、文化を育て、守ろうとした人々の姿を伝えます。

また、江川紹子さんのご寄稿「新型コロナウイルス禍 文化の黄昏としないために」もお届けします。

〈販売価格〉660円(税込) ※147号~168号は1冊642円(税込)  
〈年間購読〉年4回・送料込み(1月・4月・7月・10月) 2,800円(税込)  
どの月からでも購読を始められます。

「湖国と文化」特集ページはこちら→  
<https://www.biwako-arts.or.jp/rd/about/kokokuhistory>



### 過去の主な特集記事

第160号 文学の風土滋賀 能楽・文楽の風土近江  
第168号 近江の祭り 現在と未来  
第169号 世界が見た大津絵  
第170号 光秀 虚像と実像  
第171号 近江の中の「世界」  
(詳しくはびわ湖芸術文化財団地域創造部ホームページをご覧ください。)

〈購入方法〉県内書店、びわ湖ホール シアターショップ ほか  
びわ湖芸術文化財団地域創造部ホームページから購入の申込みもできます。  
〈お問い合わせ〉びわ湖芸術文化財団 地域創造部 TEL 077-523-7146